

まちづくり交付金 事後評価シート
水戸市中心市街地地区

平成21年12月

茨城県水戸市

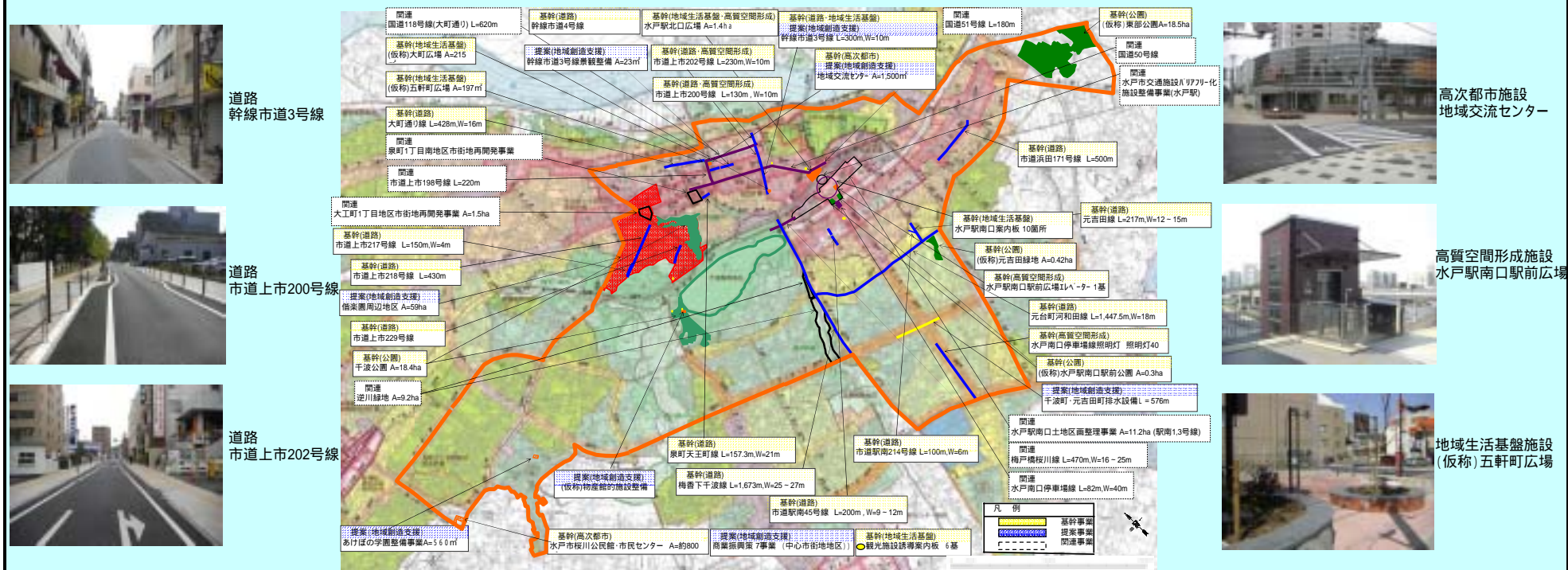
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	水戸市		地区名	水戸市中心市街地地区			面積	1,500ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	7,131百万	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(元台町河和田線 外7路線)、公園(千波公園 外1箇所)、生活基盤施設((仮称)大町広場 外4箇所)、高質空間施設(水戸駅広場 外1箇所)、高次都市施設((仮称)地域交流センター)										
		提案事業	地域創造支援事業(偕楽園周辺地区道路景観計画策定調査、大町広場整備事業、五軒町広場、地域交流センター整備施設、商業振興策、幹線市道3号線沿道歩道状空地整備事業)										
	当初計画から削除した事業	事業名											
		基幹事業	なし										
		提案事業	(仮称)大町広場整備事業 (仮称)五軒町広場整備事業										
削除/追加の理由													
新たに追加した事業	基幹事業	道路(幹線市道4号線、市道駅南214号線、市道上市217号線、市道上市218号線、市道上市229号線、市道駅南45号線、市道浜田171号線) 公園((仮称)東部公園、(仮称)元吉田緑地) 地域生活基盤施設(観光施設誘導案内板、水戸駅南口案内板) 高質空間形成施設(水戸駅北口広場(歩行支援、障害者誘導施設)、市道上市202号線電線類地下埋設施設、水戸南口停車場線照明灯) 高次都市施設(水戸市桜川公民館・市民センター)											
	提案事業	地域創造支援事業((仮称)物産館の施設整備事業、幹線市道3号線景観整備事業、千波町・元吉田町排水設備、あけぼの学園整備事業、(仮称)東部公園基本計画策定業務)											
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者通行量	人/2日	37,426	H15	45,000	H21	モニタリング	評価値	48,233	ありなし	土地区画整理事業や市街地再開発事業に加え、周辺道路整備や商店街イベント等による効果。	H22年7月頃
	指標2	バリアフリー化率	%	45.8	H16	81.3	H21		75.0		ありなし	交通バリアフリー基本構想における特定経路の整備による効果。道路事業が完了することで1年以内には達成見込み。	H23年4月頃
	指標3	地域交流センター年間利用者数	人/年	0	H16	26,000	H21		51,923		ありなし	地域交流センターの完成と、周辺の広場整備や道路整備による効果。	H22年4月頃
	指標4										ありなし		
	指標5										ありなし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	整備計画区域内人口	人	105,489	H16			モニタリング	評価値	106,374		拠点整備や周辺道路の整備により、環境が改善され、人口増につながっていると考えられる。	H22年4月頃
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	地域交流センターの整備により、新たな交流の場として、子育て中の親子のふれあいはもとより、親同士、子供同士、高齢者と児童等の様々な交流の活発化に繋がっている。												
5) 実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	持続的なまちづくり体制の構築	学生サポーターC's及びまちなかファンクラブとの連携事業	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
			今後の対応方針等										
			学生や市民及び商工会議所の主体的な活動を市が引き続き支援していく。										

様式2 - 2 地区の概要

水戸市中心市街地地区(茨城県水戸市) まちづくり交付金の成果概要

目標を定量化する指標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	歩行者通行量	単位: 人 / 2日	37,426	H15	45,000	H21	48,233	H21
大目標: 中心市街地活性化による「元気都市・水戸」の実現 目標1: 中心市街地における賑わいの再生 目標2: 交通体系の強化及び歩行者空間の整備による回遊性の向上 目標3: 少子・高齢社会等に対応した福祉のまちづくり	バリアフリー化率	単位: %	45.8	H16	81.3	H21	75	H21
	地域交流センター年間利用者数	単位: 人 / 年	0	H16	26,000	H21	51,923	H21
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化

- ・商業・業務地区の整備、交通体系の強化、回遊性の向上のために、市街地再開発事業等により拠点整備が行われ、道路整備により回遊性の向上が図られたが、魅力ある拠点の整備、歴史観光施設との回遊などの施策が必要。
- ・地元商店街、商工会議所等による各種商業振興策の支援、NPOやまちづくり団体によるまちの再生の取組への支援により、まちの活性化に一定の効果があつたが、更なる活性化を図るために、各団体が連携した広域的な取組が必要。
- ・低未利用地や空き店舗について、新たな土地利用転換や空き店舗の有効活用を図るために、地域交流センター整備、空き店舗対策等の商業振興策により改善が図られたが、他の未利用地や空き店舗の有効活用策について検討が必要。
- ・多様な分野(福祉機能等)との連携による施策を行うために、地域交流センター整備により多様な子育て支援、多世代交流の推進が図られたが、予想以上に需要が高いため、同様の機能を持った施設の建設について検討する。
- ・歩行者空間の環境整備を図るため、交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路等の整備により安全で快適な歩行者空間の創出が図られたが、他の道路についてもバリアフリー化を進め、歩行者空間の整備及び移動の円滑化を図る。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・さらなる賑わいの再生を図るため、周辺道路、公園等の整備を推進するほか、拠点整備を促進する。
- ・地元商店街、商工会議所、NPO、まちづくり団体等の主体的な活動を市が支援していく。
- ・さらなる都市機能の充実に向け、未利用地の有効活用策を検討するほか、空き店舗対策等を実施する。
- ・地域交流センター(わんぱく・みと)のさらなる利用促進を図る。また市街地における子育て支援や多世代交流を総合的に推進するため、同機能をもつ新たな施設整備について検討する。
- ・安全で快適な歩行者空間整備を引き続き推進し、歩いて楽しむことができる歩行者空間を創出し、中心市街地の回遊性の向上に努める。